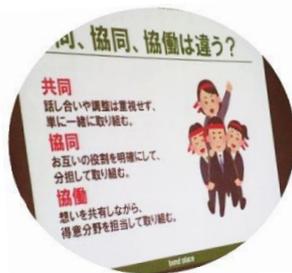


第1期講座

地域をつなぐコーディネーター養成講座

in 武蔵野市

～コミュニティを拓こう～



平成26年「これからの地域コミュニティ検討委員会」の提言では、地域においてさまざまな団体が連携してコミュニティづくりを進めるこれからのコミュニティの実現のために、市民自身が地域の課題を的確に捉え、協議の場（地域フォーラム）を運営する力をつけるための「学び」の場を確保することが必要だとされました。また、行政の職員も共に学ぶことによる協働の意識を互いに醸成していくことが必要であることも提言されました。

平成27年からコミュニティ研究連絡会と市で協議を重ね、平成28年度に市とコミュニティ研究連絡会の共催事業として「コミュニティ未来塾むさしの」をスタートしました。地域をつなぐコーディネーター養成講座は、コミュニティ未来塾むさしのプロジェクトのひとつで、対話やコミュニケーションをとりながら、コーディネーションやファシリテーションについて市民と職員が共に学ぶ場です。

○企画運営委員会

講座の実施にあたり、コミュニティ協議会の運営委員8名と市の担当2名の10名で企画運営委員会を設置しました。講座の主任講師のもと、3回の会議を開き講座の内容等を決定しました。

コミュニティ未来塾むさしのの第1期となる今回の講座には、今は特に地域活動はしていないけれどもまずは武蔵野市のこと知りたいという方から、すでに地域での活動をしていて人を巻き込みつなげる力をつけたいという方まで、さまざまな方の参加がありました。主任講師であるNPO法人CRファクトリーの五井淵利明さんのもと、西久保コミセンで一緒に学びました。

第1回 地域の姿を考える／参加者同士のつながりづくり

33名参加

初回は、社会背景や様々なデータをもとに、なぜコミュニティが重要なのか、なぜコーディネーターの存在が必要なのか、ソーシャルキャピタルの概念について学びました。

「コミュニティ運営の難しさ」の話では、人をうまく巻き込めないことによってリーダーがいつの間にか“孤独”になってしまうという話に、参加者からあるある！という大きなリアクションがありました。リーダーや特定の人だけに負担がかかり孤独な活動になってしまわないためにも、誰かと手を組む・つなげるためのコーディネーターが必要です。



講座の目的
人と人、団体と団体、地域と地域をつなげる
コーディネーターとしてともに学び合い
出会い・横のつながりを生み出し
武蔵野の地域の力を育てること

初回から
活発な意見交換が
行われました



◆参加者の感想

- つながりの大切さを再認識した
- 自分が全てをやってはいけないのだとわかった

第2回 コラボ・協働を生み出す対話術

34名参加

第2回はゲスト講師のもと、協働に必要な対話術の講座です。「対話・雑談・議論」の違いや、対話のステップ、ブレインストーミングのルールを学び、役割やテーマを変えて何度も実践を繰り返しました。



対話と議論は違う！

批判せず、傾聴することを意識して
“広がる”対話を



◆参加者の感想

- 話し方はとても重要だと思いました
- 対話のワークが楽しかった
- 「雑談・対話・議論」の話が印象的でした。意識しないと対話が少なくなることを学びました。

第3回 地域を盛り上げるイベントの企画・集客・運営

28名参加

今回のテーマは、地域を盛り上げるために欠かせないイベントの運営について。長く活動している団体も、毎回イベントの企画・運営、参加者集めには苦労しているようです。イベントに人を巻き込むためには「興味・愛着・主体」の3つのポイントがありました。そして何よりチームビルディングが重要です。企画設計の手法について学んだあとは、各自のやってみたいことをテーマに実際に企画設計書を作成し、グループ内で共有。目的は企画設計書の作成について習得することでしたが、たくさんのおもしろそうなアイデアが出され、グループワークは盛り上がりました。

楽しそうな
アイデアが
たくさん



◆参加者の感想

- ・自分が楽しめる活動（企画）を第一とするということが記憶に残った。実際そうしているか…
- ・企画設計が面白かった ・周知の声かけのコツ、チラシを作るコツが聞けて良かった
- ・実際の活動に役立ちそうよかった ・参加型活動の意義を感じた

第4回 多様なつながりのコーディネート／実践に向けてのキックオフ

30名参加

最終回は、再度コミュニティにおけるコーディネーターの重要性・協働の意義を考え、グループで協働マップを作成し、全体で共有を行いました。

また、最後のワークとして、各自今後のアクションシートを作成。講座を通じた学び・気づきから、これから実現したいこと・ネクストアクションをアウトプットしました。

講座の最後には「コミュニティ運営で大切な7つの考え方」について学び、それぞれの活動に活かせる大きなヒントを得ました。



自分以外の様々な活動
をしている若い方の話
を聞くことができ刺激
をいただいた

グループに分かれて
ディスカッションす
る良さを感じました
おしゃべりも大事

近隣のコミセンに
足を運ぶ

入門編だけで終わらず、
今後もう少し深いノウハウ
の提供があれば

意識が近いメンバーで、
次へのコーディネートに
なると感じたが、回数が
足りなかった

コミュニティ未来塾むさしの
講座を受けて

今回出会った方と
一緒に活動をして
いきたい

初回は緊張したが、回数を
重ねるごとにどんどん楽
しくなっていた
参加してよかったです

第1期同期生のつながり

現在第1期の修了生が集まり同期会を開催しています。

講座の振り返りと現在の活動などを報告し合う中で、せっかくつながりをもったこのメンバーで何か新しい活動ができないかという話が出てきました。現在、武蔵野市での市民活動に関するWebのプラットフォームづくりの企画や「ゆるいコミュニティ」づくり、みんなで取り組むイベント・プロジェクトの企画など、自由に意見交換しながら動き始めています。

今後第2期以降の修了生が加わり、より多くのつながりが生まれることを楽しみにしています。



第2期・第3期講座プログラム決定



第1期の受講生の中から、第2期・第3期の企画運営委員を募り、7名で企画運営委員会を立ち上げました。専任の講師とともに第1期の講座の改善点を話し合い、プログラムを作成しました。

第2期・第3期は、第1期に好評だった講義はもちろん、“WEB・SNSを活用した広報・情報発信”についても学べる全5回の講座を準備しています。

また、お子さんがいてなかなか地域に出られない方も参加しやすいよう、お子さんを連れての参加を歓迎します。参加者はみなさん地域の方です。託児ではなく一緒に参加し、ご近所の参加者同士で子どもを見守りましょう。

○詳細は平成29年9月15日号市報およびチラシをご覧ください。

コミュニティ未来塾むさしの 第1期講座

地域をつなぐコーディネーター養成講座 in 武蔵野市～コミュニティを拓こう～

期間：平成29年2月4日・18日、3月4日・18日（全4回）

主催 武蔵野市、武蔵野市コミュニティ研究連絡会

事務局 武蔵野市市民部市民活動推進課コミュニティ推進係

TEL 0422-60-1830 FAX 0422-51-2000

E-mail sec-katsudou@city.musashino.lg.jp